

甲南Today

甲友のリレーションで、

未来を紡ぐ

No.17
2004 March

Network Konan
つながる! 甲南ネットワーク

特集 先端科学技術研究と産官学連携

研究室
訪問

超重元素合成理論の追究

地球上にまだ存在しない
“重い元素”を追い求めて



甲南Today No.17

2004年3月5日発行 【発行】甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078 431 434(代)

鳩杖



「恩賜の杖」(鳩杖とはづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鈞三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫教授に当時の様子を書き下ろしていただいています。



平生先生のお人柄は? / めざとい / 思いがけない発想が身近な体験から生まれる / 先駆的な事業に次々手を染めてゆく / 韓国税関勤務が卒業後最初の履歴だ / 苦手な字を書かなくてよい仕事だからと / 個性尊重はご自分の悪筆からと(これはジョークか) / わが国海上災害保険の開拓者 / さて川崎の社員となつて阪神間に / 折から「阪神間」文化の建設中 / その子弟教育が重要不可欠だ / そこで甲南学園建設 / 入院先の夫人が容体急変の不幸 / 院長不在の言語道断 / そうだ臨床中心の病院をと甲南病院設立 / 東北大学の医師団を招待 / 東北大学医師がなお誇りに思うこと / めまぐるしい履歴は断れぬお人柄かも / やる気がすぐ出て発想が湧くのか / 手早い仕事ぶり / 海外入院中に四十日余で大部の自叙伝 / 七十近くの話 / じつとしてられない人 / イラチの気? / だが何よりも独自の発想と現実能力 / 幼年学校廃止を主張 / 世間を知らぬ十三歳入学で / 独善將軍の大温床 / 無謀な戦争の大原因 / 何たる勇氣の文部大臣 / 敗戦後にぜひ必要な人だった / 国のためにも甲南に就いても。

TOPICS

平生先生の五女、富士さんの名前がついた椿があります

カンツバキ(ツバキ属) 学名: Camellia sasanqua cv. Fujikoana

平生記念館に咲くカンツバキは、「原色 牧野植物大図鑑」で有名な理学博士牧野富太郎先生が、昭和の始め頃、平生邸(当時)を訪れたとき、門から玄関に通じる道の片側に低い垣根のように植えられたこのカンツバキに目を定められ、まだ学名がついていないことから、そのとき庭を案内された木村(旧姓平生)富士さんの名をとり、Camellia sasanqua cv. Fujikoanaと命名されました。現在仙台にお住まいの木村富士さんのお宅にも、ここから株分けされたカンツバキが咲くそうですが、平生記念館のものは、平生邸を偲び、また、この花の命名の元になった木として、大切に保存していきたく、この度、案内板を設けました。近くにお越しの際には、是非ご覧ください。開花は、12~2月です。



中井久夫教授
文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。『精神医学の経験』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ
<http://www.konan-u.ac.jp>



包括協定調印

2004年1月12日(月)に甲南大学、ブリュッセル自由大学包括協定が調印されました。調印式は、本学から大田理工学部長が学長代理、宇都宮理工学部教授がプロジェクトリーダーとしてブリュッセル自由大学(ULB)を訪問し、ULBからはマレ学長はじめ、理学部長、国際事業部長など6

名が参加し、マレ学長主催のレセプションとして執り行われました。マレ学長から、両大学で研究プロジェクトに取り組みることができることを大変名誉に思うこと、また、プロジェクトを通して両大学間で教員、学生の交流が図られることを楽しみにしている旨の挨拶があり、大田学長代理は、甲

南学園創設者平生鈇三郎の思想にある自由(liberty)の精神と、カトリック教会の権威を含むあらゆる権威から自由であるブリュッセル自由大学の設立精神とが合致していることが、この調印に結びついたと挨拶を述べ、吉沢学長の手紙をマレ学長に手渡しました。マレ学長は、物質の根源を思索した古代ギリシャの哲学者デモクリトスに言及している吉沢学長の手紙に感銘を受けた様子でした。

関連記事
9-10pを
ご覧ください

宇宙物理のための核データベース構築プロジェクトのスタート

翌13日(火)午前10時からULB天文学宇宙物理研究所(IAA)で研究プロジェクトの公式初会合を行いました。このプロジェクトは、宇宙物理のための核データベース構築を2004年から5年計画で行うもので、本学宇都宮教授を中心とする実験的研究とULB-IAAの理論的研究を結集させ、宇宙核物理のコミュニティに属する全ての研究者に研究基盤を提供するとともに、実験、観測、理論の発展を促進することを目的とし、故ファウラー博士(W. A. Fowler、カリフォルニア工科大学：1983年ノーベル物理学賞受賞)が担った世界的な規模の知的基盤整備事業を継承します。この会合には、ULBからアーヌール教授(M. Arnould：ULB側プロジェクトリーダー)他2名、ドイツからプロジェクトシニアスタッフに就任する高橋耕二博士、ルーバン大学からルー教授(P. Leleux)が参加し、甲南大学の2名を加えて「7人の侍」が顔をそろえました。また、包括協定に基づき、プロジェクト推進のため今後日本人博士研究員が2名雇用されるほか、2004年度に両大学間で教員と大学院生レベルで5名の交流を行います。

ブリュッセル自由大学(Université Libre de Bruxelles)

は、1834年ベルギー自由大学として開校され、1836年に、ブリュッセル自由大学に改められました。開校当時96人だった学生数は、今では、20,000人を超え、約25%の学生は、130もの国々からの留学生です。1920年には、ブリュッセルの南に位置するソルボッヒ(Solbosch)に移転し、現在のメインキャンパスとなっています。1960年には、ソルボッヒから1km内にあるプレーン(Plain)にもキャンパスを拡張し、薬学部や、理学部などが、さらに1970年には、ブリュッセル北西の郊外のエラスムス(Erasmus)キャンパスに、医学部と付属病院が開設され、大きく発展を遂げています。

ブリュッセル自由大学(ULB)は、哲学、文学、法学、社会学、政治学、経済学、心理学、教育学、科学、薬学など多様な学問領域に対応する学部がある総合大学で、授業は、基本的にすべてフランス語で行われています。国際的な研究や開発プロジェクトにも多く参加し、ノーベル賞を受賞した教授陣もいます。



甲南大学 ブリュッセル自由大学包括協定調印について

CONTENTS

WHAT'S NEW KONAN

- 2 甲南大学 ブリュッセル自由大学包括協定調印について
包括協定調印 / 宇宙物理のための核データベース構築プロジェクトのスタート
- 3 阪神・淡路大震災犠牲者追悼記念植樹式
トゥレーヌ甲南学園 ネイティブコースと短期留学コース開設
ロースクール棟竣工
- 4 人間科学研究所に講演室を新設
2004年4月から組織が変わります
就職部からキャリアセンターへ / 保健体育研究室からスポーツ・健康科学教育研究センターへ / 甲南大学フロンティア研究推進機構の設立

Network Konan つながる!甲南ネットワーク

5 特集 先端科学技術研究と産官学連携

研究室訪問

超重元素合成理論の追究

地球上にまだ存在しない “重い元素”を追い求めて

11 甲南を使いこなそう! 甲南キャンパス周辺ガイド

大学街として重ねてきた岡本の歴史を歩く

13 ハガキで寄せられた疑問を徹底調査 こちら甲南特捜部

一般参加できる講義やイベントを教えてください

15 50th Anniversary クラブつながりレーション

創立より、いまへ受け継ぐスピリッツ
体育会硬式庭球部 文化会美術部

17 Pick up 高・中Topics

E-Study

深く追究し、広く発信するため、パソコンを使って学ぶ

18 トゥレーヌ甲南学園だより セネガル(アフリカ)・クサナール市訪問

手から手へ、想いも一緒に届ける
現地ボランティアに参加

19 第一線で活躍中の卒業生にアクセス! IT'S KONAN STYLE

番組づくりも、司法試験も
目標を決めたら躊躇しない

20 甲南フォーラム



表紙の絵



西井義晃 画
「図書館」

西井義晃さんプロフィール
1961年 甲南大学経済学部卒業
元自由美術会員
次のURLで作品集をご覧ください
<http://webgarou.net>



人間科学研究所に講演室を新設

<http://kihs.konan-u.ac.jp>

人間科学研究所に、約90名収容の講演室が新設されました。講演室内には、大きなスクリーンとプロジェクター、コンピュータなどが備え付けられ、マルチメディア対応のシンポジウムや研究事業が展開されます。本研究所は、臨床心理学と人間科学の諸領域の連携により人間研究の新しい領域を創造し、発展させることを目的として設立されました。1998年に採択された文部科学省の学術フロントリア事業「現代人の心の危機に関する研究」(1998年度～2002年度)の研究成果を継承し、新たに2003年に採択された学術フロントリア事業「現代人の心の危機の総合的研究」近代化のひずみの見極めと、未来を拓く実践に向けて」とのもと、研究を推進・拡大していきます。シンポジウムや研究会のほか、研修会、講演会などの催しの開催および出版が主な事業となります。毎年研究の核となるテーマを設定し、そのテーマに沿った研究会を行い、その成果を踏まえてシンポジウムを開催していく予定です。甲南大学カウンセリングセンターとその他の関係機関と密接に連携しながら、臨床実践から研究の刺激を受けるとともに、研究成果を公表・紀要・出版し、社会に還元していきたいと考えています。出版事業については、2003年に新曜社より刊行した「心の危機と臨床の知」1巻～4巻に引き続き、2007年度までに7冊の本を刊行する予定です。テーマは、「トラウマ概念の再吟味」「育てることの困難」「感性の変容」「心理療法からみる現代の危機」「高度成長を生きた子どもたち 戦後効率主義の帰結」「アメリカのあり方とグロトバリゼーション」性的差異の社会的未来」となっています。

甲南大学人間科学研究所の研究活動を支援いただくとともに、ご期待ください。



阪神・淡路大震災犠牲者追悼記念植樹式

1月10日(土)午前11時から、5号館北側グラウンドにて、阪神・淡路大震災の犠牲者となられた当時の在校生の方々を追悼するとともに、さらなる被災地の復興を願う記念植樹式を執り行いました。式には、6遺族9名と、阪神・淡路震災復興支援10年委員会安藤忠男委員長代理計盛哲夫氏、松下緯宏神戸市助役、学園からは池上吉蔵理事長、吉沢英成学長、樋口英雄校長、堀由奈自治会中央委員会委員長ら約170名が参列、阪神・淡路震災復興支援10年委員会から寄付していたいた16本の「ハクモクレン」を植え、犠牲者の冥福を祈りました。

なお、甲南高等学校・中学校においても、正門南側に、当時甲南高等学校・中学校の在校生で犠牲者となられた2名の生徒を追悼し、2本の「ハクモクレン」が植樹されました(写真左下)。



ロースクール棟竣工

昨年3月に着工したロースクール棟が完成し、3月24日(水)竣工式が執り行われます。岡本キャンパス正門横、9号館に隣接した10階建てのロースクール専用棟で、最新設備の導入により、講義や演習はもちろんのこと、自学自習で最大の成果が期待できる設計です。原則午後11時まで利用可能な自習室には情報コンセントを備えた机が用意され個人PCも完備しています。京都地方裁判所を原寸大で模した法廷教室、交渉術の授業に適した階段教室



室も整備され、法曹の世界に入るための戦術ポイントになります。

2004年4月から組織が変わります

就職部からキャリアセンターへ

キャリアセンターは、学生が多様な卒業後の進路選択を人生のひとつのステップと位置づけ、自分の人生を確立するための能力形成をサポートします。センターのキーワードは、学生の目標意識の育成・問題発見そして問題解決能力の修得を支援する「キャリアデザイン」です。

センターでは、教務部門と協力しながら、学生の能力アップを図ります。企業への就職だけでなく、どのような進路にも当然身につけておかなければならない論理・思考能力、コミュニケーション能力、文章表現能力などの基礎能力をつけていくプログラム、キャリアについて考える機会を与える情報、インターンシップを通じて体験する場などを提供します。大学4年間を通して一人ひとりの個性に合った学生の人生目標の確立さらにはそれに必要な主体的、自律的な能力開発を支援します。



保健体育研究室からスポーツ・健康科学教育研究センターへ

スポーツ・健康科学教育研究センターは、スポーツと健康を科学することを通じて、本学の体育、スポーツ科学、健康科学に関する教育・研究活動の充実と向上を図り、また、スポーツ活動の普及振興を行い、社会においてもスポーツ科学、健康科学の研究や実証、実践の拠点となりうるための活動を行うことを目的とします。

センターでは、運動の動作分析などのバイオメカニクス、リハビリテーションなどのスポーツ医学、心身の発達発達段階に応じた適切な指導方法や競技力向上のためのコーチング、選手をメタナル面からサポートするスポーツ心理学、国内外の体育・スポーツ事情の調査・研究などの文化的、社会的な研究が行われ、研究成果は、本学の教育活動の中で実践され、また、学会での発表や講習会などを通して社会にも還元されます。

甲南大学フロンティア研究推進機構の設立

甲南大学フロンティア研究推進機構(Konan University Frontier Research Organization for New Themes(甲南FRONT))の業務は、(1)受託研究・共同研究に関わる研究補助金等の受け入れを行う研究支援業務、(2)研究会・講演会・交流会、さらにはOB・OG企業等との意見交換会などを開き、産官学のマッチングの場を提供し、さらにはマッチング業務の遂行を担当するコーディネート業務、(3)主に、知的財産の創出・管理(特許申請や実用新案申請)を担当する知的財産業務、(4)大学発・研究室発ベンチャービジネスや学生ベンチャーへの支援を行うビジネス・インキュベーション(起業の育成・支援)業務で、大学の研究成果や知的創造物を通しての社会還元そして産官学の連携を目指します。

トゥレーヌ甲南学園

ネイティブコースと短期留学コース開設

トゥレーヌ甲南学園では、2004年4月から、高等部にネイティブコースと短期留学コースを開設します。ネイティブコースでは、フランスで過ごす高等部での3年間を通して、従来のフランス文化コース、英語コース以上に言語と文化の教育に力を入れ、将来的には国際的な舞台で活躍する、外交官、研究者、ビジネスパーソンを養成します。仏語ネイティブコース(仏語既習者対象)では、仏検1級、DELTA A6、仏語ネイ

ティブコース(仏語未修者対象)では、仏検準1級、DELTA A4、英語ネイティブコースでは、英検1級、TOEFL550点の取得を目指します。短期留学コースでは、日本人スタッフの細やかなケアのもと、安心して1年間(高等部2年生)フランスの文化を体験でき、文字やテレビでは伝えることのできない本物のヨーロッパ文化の真髄に触れ、人間的に大きく成長することを目的とします。

先端科学技術研究と 産官学連携

特集

昨年11月、甲南大学に誕生した先端生命工学研究所「FIBER」。この研究機関は単に学内の研究・教育に活用されるだけでなく、社会と密に結びつくことで、地域そして日本の科学技術の推進に大きく寄与していくとされるものです。今回はFIBERで研究をされる先生方のうち、杉本所長と他3人の先生にお集まりいただき、具体的な研究内容や今後の可能性などについて語っていただきました。



生命・健康・環境・材料の4領域を束ねて「ひと」を科学する甲南大学先端生命工学研究所 (Frontier Institute for Biomolecular Engineering Research)

「ナノとバイオを組み合わせた新領域 「ナノバイオテクノロジー」を追究

杉本 甲南大学ではこれまで、「ハイテクリサーチセンター」において、最先端の科学技術分野を追究してきました。そのひとつが「ナノバイオテクノロジー」。これは、分子のレベルで物質を操る「ナノテクノロジー」(超微細技術)と、生命の仕組みを解明する「バイオテクノロジー」を組み合わせた新しい領域で、いま、医療や環境などの分野から大きな期待が寄せられています。

「ハイテクリサーチセンター」で進められてきた「ナノバイオテクノロジー」の研究をより発展させていくことを目的に設立されました。専任教員は3名、兼任教員として理工学部の教員が8名。そのほか国内外の博士研究員、大学院生がチームを組み、さまざまな方面からナノバイオテクノロジーの研究に取り組めます。研究領域については、まず専任教員も、理工学部の教員もそれぞれの専門領域から研究を進めていきますが、私の考えではこれを、「ケミストリー」「バイオ」「マテリアル」の3つにまとめることができると思います。もっともこれらは独立した領域ではなく、「ケミストリー」の成果をもとに、「バイオ」の追究を進め、さらに「バイオ」に生かせる「マテリアル」を開発するなど、密接に関連し合うものです。ここではそれぞれの領域の具体的な研究内容を各先生方からお聞きすることにしましょう。まずは、「ケミストリー」分野の松井先生、お願いします。

「ケミストリー」分野の専門家が、 ナノバイオをキーワードに力を結集

松井 ケミストリー分野では3人の教員が自分の専門性を生かした研究を行います。私が専門としているのは高分子化学。高分子という生活には馴染みが薄い物質のように思われるかも知れませんが、



ソフトボールやプラスチックも高分子のひとつです。同様に、DNAやタンパク質など、私たちの体にあるものも高分子なのです。私の立場からは、これらの物質、たとえばプラスチックに注目し、プラスチックを使って体の中に存在するタンパク質以上に、高機能かつ強いタンパク質を新しく創り出し、医療、環境などに利用できないかといった研究を進めていきます。例えば、河川中の環境ホルモンだけを識別し無毒化するなどの機能を持たせたタンパク質を考えています。また、メンバーの一人、村嶋先生は高分子より範囲の大きい、有機化合物という視点から研究を行います。有機化合物とは、「炭素を骨格とした化合物」のことで、生物の組織、薬・プラスチックなどはほとんどこれに当てはまります。村嶋先生はこの有機化合物を自分で設計し、目的にあった独自のものを創り出していく専門家です。さらに、私たちの体の中で大きな役割を果たすもののひとつに金属イオンといわれる物があります。鉄や銅がそれです。村嶋先生が扱っておられるケイ素系有機化合物とこの金属イオンをあわせると、金属錯体と呼ばれる物になります。「この金属錯体には、例えば肝臓で毒物を代謝する酵素の中で働いているものがあります。もう一人の藤井先生はこの金属錯体をメインに、バイオに生かせる「ケミストリー」を研究していかなれます。

杉本 それぞれの先生方は世界トップクラスの技術をお持ちで、普段はそれぞれに研究が行われている



N. Sugimoto
杉本 直己
理工学部教授

Pick up Keyword

*1 ナノテクノロジー
「ナノ」とは10億分の1を表す単位。1ナノメートルは分子や原子の大きさに相当する。ナノテクノロジーとは、この極めて小さな分子や原子を自由に操って加工する「超微細技術」のことをいう。



J. Matsui
松井 淳
理工学部講師



わけですが「FIBER」の設立により、「ナノバイオ」というキーワードで力を集結していただくことになりました。それぞれの研究が相互に結びつけばこれまでにない新しい成果を導いていくことができるはず。かなりの成果が期待されます。それでは次に、「この成果を生かしていく場である「バイオ」分野について、川上先生、お願いします。」

「ケミストリー」の成果を生かす 新しい「バイオ」がスタート



J. Kawakami
川上 純司
理工学部講師



川上 これまでのバイオ分野では、あらゆる生物個体そのものを研究対象としてきましたが現在のトレンドではどのようにして生物個体が成り立っているかというナノサイズの研究に注目が集まっています。もう少し詳しく説明すると、DNAに書き込まれた遺伝情報をもとにして作られる何万種類もの微細なタンパク質分子というミクロの存在がいま重要な研究対象になってきているのです。いろいろなタンパク質同士がついたり離れたりするのが、生命活動の本質である。このついたり離れたりする性質の研究は、「ケミストリー」の得意分野です。つまり、現在の「バイオ」の研究は、「ケミストリー」とオーバー

ラップする部分が非常に多くなってきたわけです。また、私の専門とする薬学の分野では、薬物を開発するとき、どの研究所でも企業でも、何か分子に作用する物質を一つ一つ創っては効果を確かめるといった地道な研究手順がいまも一般的です。ところが「FIBER」では優れた化学者と共同研究ができるので、貴重な「ケミストリー」の基盤研究を生かして、仮説を立て、デザインした通りの機能をもった新しい物質を創っていくという大きなメリットがあるのです。また、「バイオ」のもう一人の研究者、西方先生はホヤなどのモデル動物を用いて、タンパク質分子のネットワークを研究されています。これにより私たちが生み出した分子が、実際に生体においてどのように働くのかを調べることができ、実践的な評価を行っていくことができます。

杉本 さてこのように私たちは「ケミストリー」という概念を中心に、バイオ、ナノに直結した研究体制を整えました。これによって、例えば分子レベルで遺伝子の発病メカニズムを追究し、異常のある遺伝子に正常な遺伝子を絡ませて副作用なく病気を治すことができるかも知れない。あるいは、人間の体の中にあるタンパク質やDNAを素材に使い、廃棄

新技術は社会で試し、フィードバック さらに高度な成果へと結びつける

杉本 さてこのように私たちは「ケミストリー」という概念を中心に、バイオ、ナノに直結した研究体制を整えました。これによって、例えば分子レベルで遺伝子の発病メカニズムを追究し、異常のある遺伝子に正常な遺伝子を絡ませて副作用なく病気を治すことができるかも知れない。あるいは、人間の体の中にあるタンパク質やDNAを素材に使い、廃棄

しても環境に害のない材料がつけられるかも知れない。この研究体制には無限の可能性があるわけです。とくに強調したいのは、これらの成果を研究室の中で終わらせるのではなく、企業や社会と双方で突き詰めていきたいと考えていることです。私たちのつくった物質やデータは、社会で広く活用していただきたい。そしてその社会における成果は再びフィードバックしてもらい、より高い研究に結びつけていく。最終的には、あらゆる企業や学術的な研究の中で応用できる、最も重要な何かを「純粋学問」として追究していきたいと考えています。

例えば、病気を未然に防ぐ材料 バイオに生かせるマテリアルを開発

赤松 私の研究では、「ナノ材料」の中でも、無機材料を扱っています。これは有機物ではない金属や酸化物が対象となります。人体のほとんどは有機物というお話を松井先生がされていましたように、「見生物とは無関係の分野のように思われがちですが、ナノサイズという大きさはDNAやタンパク質の大きさと同じくらいなのです。生命分子と同じくらい大きくなります」と、これらは私たちが普段知



K. Akamatsu
赤松 謙祐
理工学部講師

すでに医薬、食品、薬品、電気などの企業、例えば富士写真フイルムなど、サイエンスのいろいろな分野との連携が始まっています。しかし、そこにはまだ私たちの気が付かない可能性もたくさん存在していると考えています。そこで理系の方はもちろんとくに私たちと異なる発想を持つ、文系の読者の方にもご支援をお願いしたいのです。研究を経済や社会のシステムにつまぐり応用するアイデアをお持ちの方は、このプロジェクトを、ぜひ積極的に活用ください。そしてお互いの協力で、FIBERをさらに意義あるものにしていくにはありませぬか。

Pick up Keyword

* 3 マテリアル

広い意味での「モノ」を表す。100種余りの元素をさまざまに組み合わせ、人の役に立つ「カタチ」として機能させることを狙う研究分野。地球規模のさまざまな問題を解決するカギとしても注目されている。

Pick up Keyword

* 2 バイオテクノロジー

「バイオロジー（生物学）」と「テクノロジー（科学技術）」を合成した言葉。遺伝子組み換え技術を中心とした研究分野。最近の先端研究としては遺伝子治療、再生医療などが進んでいる。

先生、知の最前線を
教えてください!!



研究室訪問

「超重元素」はどのように合成されるのか

宇宙ができた頃、最も軽い元素である水素がほとんどであったと言われている。それが重力の作用で寄り集まり、融合反応によって大量のエネルギーを出すようになり、光り輝く星となり、燃え尽きて、あるものは爆発(超新星爆発)する。その過程で重い元素が作られる。宇宙の年齢はおよそ140億年と言われているから、その間に星ができて爆発する過程を何百回も繰り返し続け、金・銀・銅のような身近な重い元素が蓄積されてきたのだ。元素は主に化学で呼ばれてきた物質の要素で、物理学ではそれを原子と呼び、原子番号と元素記号で区別している。原子は原子番号の数だけの電子が非常に小さな原子核をとりまくような構造になっている。

「人間の体にかかわらず、世界のあらゆる物質は性質の異なる種々の元素から成り立っています」と、太田教授は語る。「スイ・ヘーリー・ペー」と元素記号を暗記した人もいらっしゃるのではないでしょうか。このうち、1番の水素が自然界で最も軽い元素、92番のウランが自然に存在する最も重い元素。個々の量子効果によってそれぞれの顔色が決まっています」と、この元素記号表の上では、ウラン以降にもさらに重い元素が記載されている。

「ネプツニウム、プルトニウムなど、これらは後に人間が核融合によって生み出してきた人工元素なんです。融合について、その過程を時間経過を追うなど、学生たちとあらゆる側面から地道なコミュニケーションを行っている。ただし当の教授によれば、「これほどロマンのある研究もない」とか。確かに、たった100のパーツがあらゆる物質を形成している私たちの世界、そこに新しいひとつを見出すことが、どれだけ可能性に満ちたものであるかは想像に難くない。太田教授の研究は「これからどんな広がりを見せていくのだろう」。

海外の研究者と手を組み 新たなプロジェクトを発動

教授の今後の活動のひとつとして、とくに世界から注目を集めているものがある。それが「宇宙核物理に関するプロジェクト」だ(PP2の関連記事を参照)。これはヨーロッパの研究者たちと甲南の教授陣による共同研究で、宇宙の元素がどのような過程を経てつくられてきたのかを明らかにしようとするもの。

「発端となったのは、3年前おきにフランスのトゥール市で行った「トゥールシンポジウム」です。これは1991年のトゥール・ヌア甲南開設をきっかけとして私たちがスタートさせたヨーロッパと甲南の研究者の交流の場。開催するたびに、着実に内容が濃くなって



トールシンポジウムの報告書。年々内容の濃い研究成果が扱われるようになってきた。

を」という話がまとまり、今回のプロジェクトにつながりました。太田教授、「このシンポジウムは、博士課程の学生やその課程を修了した学生のデパートとなるなど、これまでも甲南の物理学の研究活動を大きく支援してきたが、またひとつ、新しい活動を生み出した。原子核物理学の教授、京都帝国大学の荒勝文策氏が初代学長を務めたという原子核物理の伝統が根付く甲南大学。この背景を追い風に、太田教授の研究はますますその深度を増していく。」

トールシンポジウムは、元理事長久保田淳一氏、元学長湯浅一經氏および京都大学基礎物理学研究所助教授阿部恭久氏をはじめとする多くの学園、トール・ヌア甲南学園、アムステルダム・トール関係者の協力で始められました。

今回のテーマは...
超重元素合成理論の追究

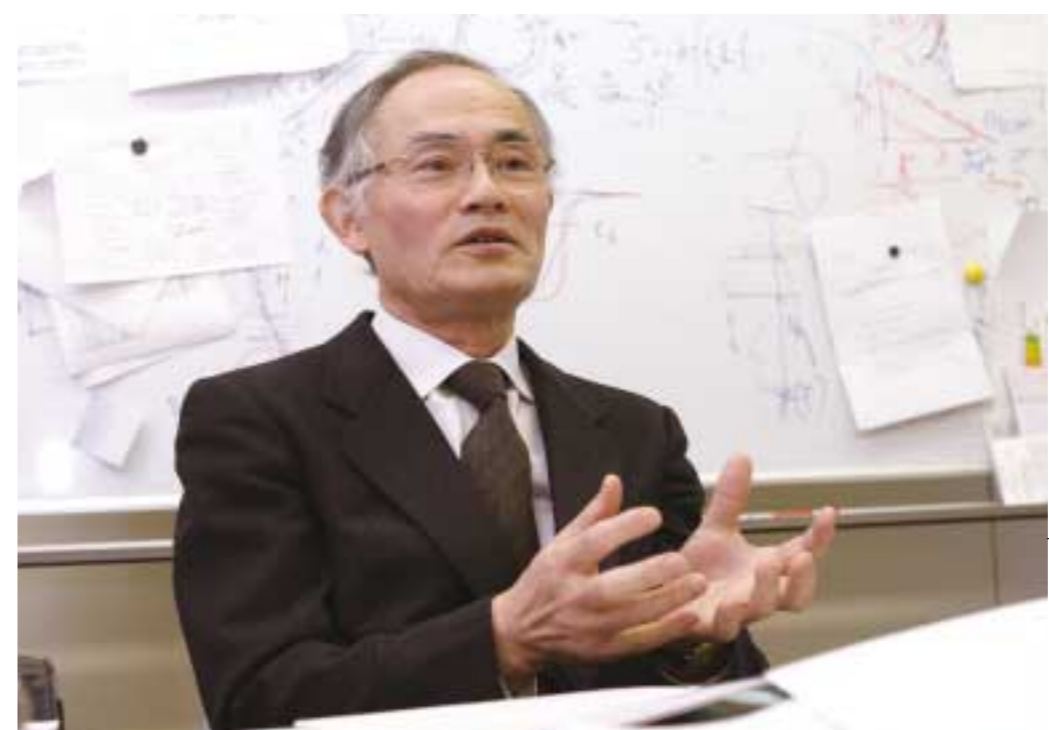
“地球上にまだ存在しない 重い元素”を追い求めて

すね。現在は昨年命名された110番目のタムシタツトニウムという元素が最も重いとされていますが、これからさらに新しい元素が生み出される可能性は十分にあります。実際、まだ確定してなくて、名前もついていませんが、すでに118番までの元素は見つかっていない報告があります。私はいま、これまで発見されていない、超重元素をいかに合成できるかということを理論的に追究しているのです。」

たつたひとつの元素の発見に 途方もない可能性がある

しかし、自然界にない元素を生み出すことは、それほど簡単ではない。理論上は合成できるはずの元素同士が、実際は原子核の構成要素である陽子の電気的な反発力のために、非常に融合しにくいのだとか。太田教授はこう続ける。「自然は星の進化過程の中で種々の元素を作ってきました。水素やヘリウムなどの軽い元素から核融合によっていまあるような元素ができたと言われています。重い元素は膨大な時間をかけて、私たちの想像を超える規模のエネルギーの作用に付随して作られてきました。それでも自然のなし得なかつた超重元素の合成に人が挑戦しているのですから大変なことです。」

何しろスケールが大きい。斬新な想像力に加え、何より根気が必要な研究であることは間違いないだろう。現にいま、太田教授は鉛とビスマスなどの重い原子核の



理工学部物理学科 太田 雅久 教授

1943年、大阪府生まれ。甲南大学大学院自然科学研究科物理学専攻修士課程を経て、理学博士へ。専攻は原子核理論。原子番号が110以上の未知超重元素合成について重い原子核の融合・分裂機構の理論的研究を進めている。

最近、理論研究室で博士号を取得した人たち



有友 嘉浩さん

1 998年に博士の学位を取得後、ロシアのフレロフ核反応研究所の研究者として現在に至っています。超重元素合成の理論グループの一員として、フレロフ研究所の実験解析に寄与してきました。現在、フレロフ研究所ではZ = 118までの元素の合成に成功しており、ドイツのGSIと並ぶ世界屈指の研究所です。最近の研究は、超重原子核領域での融合・分裂反応機構の動力学的解明です。

2 003年に博士号を取得し、同年4月より日本原子力研究所の博士研究員として勤務。現在は超重元素合成と核分裂に関する理論的研究を米国ロスアラモス研究所と共同で行っています。理論研究室の特徴として海外からの訪問者が多く、修士の時にロスアラモスの研究者と知り合う機会があり、この頃の経験が自分にとって大きなプラスとなりました。理論の研究でも世界中の多くの研究者と共同で研究する事が非常に重要であり、甲南大学時代の環境が恵まれていたと感じます。



市川 隆敏さん



濱田 賢明さん

原 子クラスター(少数原子の集合体)の性質についての理論的研究で2003年に博士号を取得しました。博士課程ではフランスのCEA研究所(グルノーブル)と共同研究を行っていました。理論研究室では海外に出る機会も多く、私は共同研究者の誘いもあり原子クラスターを研究している学生に対してフランスで開催されたサマースクールに参加し大きな刺激を受けました。現在は強光子場と物質の相互作用に興味を持ち、高強度レーザーを分子に当てたときの反応をシミュレーションする研究を筑波大学と共同で進めています。

ウ ランやフェルミウムの核分裂の様子を、ランジュバン方程式を用いて動力学的に解明することにより2004年に博士の学位を取得しました。この解析処方を実験に適用するため、ブリュッセル自由大学との共同研究のためにベルギーに赴く予定です。



浅野 大雅さん

重 い原子核の融合反応を動力学的に解明しようとする研究で1999年に博士の学位を取得しました。学生時代は、研究に没頭...というよりは、甲南大学、そして理論研究室の居心地がとてもよかったために、ついつい長居してしまった(?)感じ。現在は、携帯電話やモバイルマルチメディア関連の仕事で、当時の研究内容とは直接関係ありませんが、コンピュータの利用や論文作成、物理学会や国際会議での発表などの経験が役に立っています。研究室で海外の研究者と交流できたのもいい経験だったと思います。現在、ドコモ・モバイルメディア関西株式会社スタッフとして勤務しています。



徳田 卓也さん



1962



保久良さんよりの眺め

大学の校舎もすっかり変わりましたが、町並みも変わりました。遠くに見える高いビルは、JR住吉近辺に建築されたマンションで、左側は、東灘区役所のあるエリアです。

学生当時の大学周辺でのエピソードや写真を広報部までお寄せください。



2004



1959

【講堂】旧制高等学校以来、40年間、さまざまな式典が行われた講堂は、1963年、老朽化のために取り壊され、講義室、研究室などを含む鉄筋7階建ての2号館が建てられました。旧講堂の撤去後、新しい講堂兼体育館ができるまでは、式典などを催す場所がなく、入学式、卒業式は1号館前のバスケットコートを利用していました。

キャンパス施設



1967

【バスケットコート】1937年頃、伊藤忠兵衛氏の寄贈により、南洋産のパンキライ材を張ったバスケットコートが1号館前に新設されました。後にパンキライ材は老朽化し、取り外されましたが、1978年大学の新図書館が建築されるまで、入学式や学生の憩いの場として利用されていました。



1971

【流水和道】前号(No16)でご紹介した、初代学長荒勝文策先生の文字「流水和道」は、学生会館の建設に伴い、この写真にあるように現在の出会いの広場にあったものを、学生会館東南の芝生へ移転されました。



1967

阪急岡本駅

駅周辺の様子もガラリと変わりました

阪神・淡路大震災以降、特急がとまるようになりました。写真当時は、岡本駅構内の踏切を渡り、改札口へ。現在は、地下道で安全に、また改札口は自動改札となり、駅周辺もブティック、レストラン、ケーキショップなど若者向けのショップが目白押しにいつにもぎわっています。



2004

交通アクセス



1959

昔は梅の時期だけの駅ご存じでしたか？

JR摂津本山駅

今も昔の佇まいを残したJR摂津本山駅。もとは梅の時期だけの駅だったものが、住民の請願で1935年に設けられました。現在の駅前広場は石畳となり、2000年10月にリニューアルオープンした二楽園のビルには、スターバックスや英会話スクールなどのテナントが店を構えています。



2004



2004



1955

大学街として重ねてきた岡本の歴史を歩く

「ん!? どこかで見たことがあるような...」と思った人も多いはず。年代を感じさせるこれらの写真は、いまから30~40年程前の岡本周辺の風景です。今回のキャンパスガイドでは、ご年配の方には懐かしい、若い人には目新しい岡本の過去を現在との対比でご紹介していきます。しばし一緒に、岡本の歴史散歩といきませんか。

甲南を使いこなそう!



甲南
キャンパス
周辺ガイド

CAMPUS
LIFE
REPORT



1966

40年前の学生も見上げた時計台

お地藏さんの道

1966年3月、新しい近代建築の粋を集めた講堂兼体育館が、正門の西側広場(芦屋移転前の中学校小グラウンド跡)に建てられて、早や38年になります。その後、7階建ての9号館や、9階建ての10号館などが建てられましたが、地上30mの時計台はずっと甲南のシンボルとして親しまれています。



1963



2004

外観は変わったけれど、酒屋さん、本屋さん健在

キャンパスまでの道のり



2004

民家ばかりだった道沿いにケーキショップ、カフェバーもオープン

十二間道路

阪急の線路北側あたりから見た十二間道路です。今は、ケーキショップ、カフェバーなどもできました。在校生の皆さん、十二間道路は、斜めに渡らないで、信号機のあるところを渡りましょう!



1962



2004



1962



2004

中島橋周辺

何度となく渡った、天井川にかかる橋は「中島橋」。橋をはさんで酒屋さん、本屋さんの外観が変わりましたが、今も健在。天井川の東沿いに上り、阪急の線路を越えたく右手に、有名な桜守公園があります。水上勉の小説『桜守』のモデルとなった笹部新太郎氏の邸宅跡で、1981年に神戸市が買い上げ、岡本南公園として開園。笹部氏ゆかりの荘川桜をはじめ10数種類30本ちかくの桜が植えられています。

宇山眼科西阪急ガード

入学式の頃には、阪急のガードをくぐると、線路沿いに染井吉野や少し遅咲きの八重桜が咲き乱れます。

大学の雰囲気や学生生活を
知るチャンスも豊富!

主な年間スケジュール

3月27日	大学オープンキャンパス
4月1日	入学宣誓式・父母の会新入会員歓迎会
4月1-3日	新歓祭
4月3日	自治会オリエンテーション
4月21日	創立記念日(講義あり)
4月24日	第49回 対学習院大学運動競技総合定期戦 開会式
5月3・4・5日	第31回甲南キャン
5月10-14日	第35回学館祭
6月26日	教育懇談会(本学)
6月初旬	文化会フレッシュマンハイキング
7月16-29日	前期試験
7月31日	大学オープンキャンパス
8月7日	第4回オール甲南の集い
8月22日	大学オープンキャンパス
9月15日	前期末卒業式・学位授与式
10月11日	大学生保護者対象オープンキャンパス
10月	教育懇談会(広島)
10月-11月	特別入試
11月	教育懇談会(和歌山)
11月3-7日	大学祭(摂津祭)
11月6日	大学オープンキャンパス
12月11日	第49回 対学習院大学運動競技総合定期戦 開会式
12月中旬	体育会リーダーズキャンプ
1月17-29日	後期試験
2月下旬	金甲賞・体育会祝勝会・文化会顕彰会
2月下旬	文化会リーダーズキャンプ
3月初旬	父母の会課外活動表彰式
3月25日	卒業式・学位授与式

2004年2月現在の予定です

夏のイベント

SUMMER

人間科学研究所公開シンポジウム

7/25 人文・社会諸科学の連携によって、現代人の心の危機に関する共同研究を行う人間科学研究所の主催。テーマは「トラウマ概念の再吟味～埋葬と亡霊～」(参加費無料)。

第4回オール甲南の集い

8/7 卒業生、在校生、ご父母、先生方、全ての甲南関係者が岡本キャンパスに集まる、一年に一度の大イベント。今年は、夏休みに行います。暑さに負けず盛り上がりましょう!



AUTUMN

秋のイベント

後期社会人講習会【言語講座】

9/25 ▶ 12/4 全10回

前期・後期の2回のチャンスがあります。また、継続することでさらなるブラッシュアップが期待できます。

大学祭【摂津祭】

11/3 ▶ 11/7

模擬店や各クラブのイベントなどにより、岡本キャンパスが一年で最も活気づく5日間。

秋期公開講座【ジェンダーで見る現代の日本】

10/2 ▶ 11/6 全6回

「ジェンダーの視点」に基づく職場や家庭、社会保障や文化表現の実像解明を行い、男女がもっと自由になれるような生き方を模索します。



甲南大生オリジナルメニューの食べ歩きも楽しい!

一般参加できる
講義やイベントを
教えてください

今回の
調査依頼

ハガキで寄せられた疑問を徹底調査

こちら甲南特捜部



お便りで届いた皆さまの疑問を、毎回、徹底調査していくこのページ。今回は卒業生や地域の人たちに参加していただける講義、イベントを一挙に公開します。

調査結果

キャンパスイベントカレンダー

甲南大学では、社会人の方のためにもさまざまな学びの場・イベントをご用意しています。あなたもぜひ、このページで関心のある催しを見つけてください。

SPRING 春のイベント

公開講座

【境界を超える人・物・情報 ~日本・琉球・中国の民間文化交流~】

5/15 ▶ 6/19 全6回

日本・中国の沖縄を中心とした東シナ海をめぐる民間文化交流について、歴史、文化、言語、情報医療などのジャンルから考察していきます。

前期社会人講習会【言語講座】

5/1 ▶ 7/3 全10回

最新のマルチメディア教室を利用して、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を学びます。

公開講座【親子で楽しむ生物観察】

5/22 ▶ 7/17 全5回



理工学部の先生たちによるわかりやすく楽しいお話と大学の実験室を使っての実験を通して、生物の楽しさを知ることができます。

現代講座

5月下旬

講演テーマなどの企画、講師との交渉、会場の設営などすべて学生が主体となって開催します(参加費無料)。



今回は堤 幸彦氏を講師に迎えました

春のイベントのお申し込みは本誌22ページをご覧ください

誌面作りに対する「ご意見・ご感想」

ネットワーク甲南は、後輩たちの職業選択に大変参考になる企画だったと思います。今後もさまざまな業種を取り上げて欲しいです。(不明)

昨年の摂津祭に私も参加させてくださいだったのでとてもうれしく読みました。あの時は私の長女がこんなに素敵な甲南大学で4年間勉強にいそしんだと想像するだけで、とても幸せな気分になりました。次回もまた参加させていただきます。(卒業生のご父母)

驚くほど施設が充実していて安心と感心の連続でした。こんなに完備されていたら、秀才や逸材がたくさん出てくるような気がしますね。(60年卒・男)

鳩杖は中井先生の人格がにじみ出ており、心を打ちます。思い出もこのような捻りされた文章になると、読み応えがありますね。(61年卒・男)

グルメ甲南はとても楽しく、訪れてみたくなりました。今度は兵庫県内のお店をもっと紹介してください。(61年卒・男)

こちら甲南特捜部でゼミのことを取り上げていただきたいです。子どもがサークル活動やバイトで忙しく家ではほとんど話ができないので、もっと大学の話を知りたいです。(学生・生徒のご父母)

平生飢三郎先生の人柄や偉業をいまの中高生たちはどれ程知っているのでしょうか、私自身甲南で10年間過ごしながらも、断片的な知識しか持っていませんでした。今になってさまざまな書を読み、甲南に対する真の誇りを持つようになりました。(65年卒・男)

ITS KONAN STYLEでは卒業生の方が活躍されている姿が興味深く、その方の人格や思いが伝わってきました。今度は長く勤務されていた教授のその後のお姿を取り上げてほしいです。(不明)

あなたの声で、このページを、つくりませんか?

「こちら甲南特捜部」は、皆さまのお便りをもとに構成するページです。日頃から甲南大学に対して感じていた疑問を、どしどしお寄せください。また、誌面作りに対する「ご意見・ご感想」もお待ちしています。



▲現役部員(2003年)



▲SALON DE KONAN No.3 (1965年)



▲1960年代活動風景

文化会 美術部

キャンパスを超え、表現の場を求めた50年

最終の混乱が落ち着き、多くの人々が海外文化に目を向けた。50年代、日本の美術界においての人気は、具象画から抽象画へ向かった。こうした日本美術史の変革期、新制甲南大学の開学とともに、旧制甲南高等学校の文化部絵画班を前身とする美術部がスタートした。

57年卒の渡部さんは、旧制での絆を生かして、仲間と美術を楽しめる場をつくりたかった。と、発足当時を思い返す。部員数は15名ほど。甲南学園展を皮切りに、大学祭の看板やオブジェを一手に制作し、年に2、3回のスケッチ会を開催。さらに個々に美術館や芸術館巡りをし、関西展などに出席する部員もいた。55年には、学習院大学との合同展を開催。これが後に東京の百貨店での合同展に発展し、活動の幅を広げるきっかけになった。「あの頃は演劇部との共同部室で、体育会との予算の取り合いも厳しかった」。59年卒の天野さんは不便を強いられながらも、ピカソ展やマチス展に衝撃を受け、創作意欲を強くした当時の心境を語ってくれた。

58年の秋には、神戸国際会館での文化部合同の文化祭に参加。音楽や能・狂言が披露される中、美術部は驚きのパフォーマンスを見せる。3000人を数える満員の観客を前に、即興で又ードデザインをやったのだ。そこには描くだけではない、新たな表現を求める姿勢があった。「ソノリ集団とみなされることもあった」と語るのは、67年卒の柳原さん。あまりに活動の幅が広いので、クラシック音楽が好きだからなど、美術とは無縁の入り理由も多かったとか。定期展「サロン・ド・コナン」の「こく、多彩な顔ぶれに彩られたサロンの様相である。しかしながら、美術が世間に浸透し始めた63年頃からは絵画作品の創作により情熱的な活動が始まる。柳

た。当時のシテラスの上位に進むと、必ず甲南同士の対戦になったほどだ。彼らが王座奪還というひとつの目標を前に、ガッツリと手を組んだのだ。そして、79年。甲南は当時関東で無敵の強さを誇った早稲田大学を下し、16年ぶり、2度目の日本一に返り咲いた。その強さは、いまなお、テニス部の語りぐさとなっている。しかし、残念ながらこの栄光は永く続かない。

81年以降からは、突然のテニスブームでジュニアプレーヤーが増加。有力校のほとんどがセレクトシオン制度を導入したが、甲南はあくまで純血にこだわった。86年卒の坂元さんによると部員が減少し、団体戦では一部リーグ優勝を逃す不本意な成績が続いたという。ただし、この頃でもインカレや関西学生選手権ではコンスタントに優勝者を輩出していった。86年には初の関西学生リーグ2部陥落するも、2年で1部復帰を果たした。88年卒の石原さんは、個人戦でいくつもの良い成績でも部員全員の目標はつねに王座奪還にあった」と当時を振り返る。

92年卒の平野さんたちは、崖っぷちに立ちながら、1部を死守する粘りを見た。その裏にあっては練習の厳しさだけではない。「甲南庭球部をいかに守り抜くか。部員全員が集まって、大まじめにそんなことを語り合っていたんですよ」。そして94年には久々の王座出場を果たし、4位の成績を収める。99年卒の国光さんは、あまりにハードな練習で、退部を考える暇もなかったと笑うが、逃げ出さなかったのは、きっと大きな目標を誰も見据えていたからだろう。

OBの方々のたゆまない努力に支えられてきた甲南硬式庭球部の伝統。現役の池上さん、高木さん、田中さんは、あらためてその重さを感じ、表情を引き締めた。先輩たちが築いた伝統を受け継ぐ彼らの健闘を見守り続けていきたい。



美術部結成。小野先生を中心に。(1953年5月)

【創部】1952年
【部員数】42名(2004年1月現在)
【主な実績】

- 1952 美術部創部
- 1953 10月、関西学生芸術展出品(渡部・清水入賞)
- 1954 学内展はじめて(第一回部展)
- 1955 大学祭において正門前に大学祭のためのコメント制作。以降、大学祭の正門アーチとなり制作を続けている。
- 1955 第一回学習院合同展開催(於・朝日会館)／新入生歓迎展発表
- 1957 第一回神戸七大学美術連合展開催
- 1958 全日本学生油絵コンクール(西井・金田入賞)／「オル甲南展」開催／「サロン・ド・コナン展」開催
- 1966 野外展開催
- 1994 ウェールズアート制作
- 2003 全部員による共同作品制作

取材に出席された方／那須一郎さん(59歳卒)、西尾忠昭さん(65歳卒)、藤井三穂さん(70年卒)、吉田昇生さん(79年卒)、中西伊知郎さん(81年卒)、坂元俊一さん(86年卒)、石原さん(88年卒)、平野雄志さん(92年卒)、国光高木さん(99年卒)、学生、池上真智さん(3)、高木隆宏さん(文)、田中幸子さん(文)

03年 大学祭の正門アーチ作り

95年 大学祭の正門アーチ作り

54年 大学祭の朝

デビスカップ日本代表選手

選手名	出場年度
旧制高 51年卒 伊藤 英吉	1933
大学 57年卒 松岡 功	1956
高校 55年卒 石黒 修	1958, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66
大学 62年卒 藤井 道雄	1932, 63, 64, 65
大学 64年卒 渡辺 康二	1963, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70
大学 65年卒 小林 功	1967, 68, 69, 70
大学 64年卒 河盛 純造	1968, 69, 70, 71
高校 73年卒 西尾 茂之	1977, 78, 80, 81, 82, 83, 84



全日本大学対抗テニス王座決定戦(1963年7月・芦屋クラブ)

硬式庭球部

80周年記念式典 11月27日開催!
場所: 阪急インターナショナルホテル

運命づけられた試練 王座のプレッシャーと闘う



全日本大学対抗テニス王座決定戦優勝記念血(1963年)

硬式庭球部の歴史は、旧制甲南高校が生まれた大正時代にまで遡る。創部2年目には関西学生連盟リーグ戦で初勝利を挙げ、早々と、後の硬式庭球の名門校としての礎を定めた。新制甲南大学となって以降、男子テニスの国別対抗戦「デビスカップ」の出場選手を数多く輩出する(別表)など、着実に「テニス甲南」の名声を広めていった。

55年、関西大学対抗リーグA級に昇格。3年後に新設された女子部も、その翌年には、関西女子大学リーグB級で優勝し、男女共にA級昇格を果たした。59年にキャンペンとしてこの強豪チームを引っ張った那須さんは、当時をこう振り返る。「僕は相当メンバーに嫌われたんじゃないかな。キツイ練習ばかり課していたから。日曜日も自主練習だったけれど、休まなかった。池田市のコートに集まり、関学や神大といった他校と競い合っていましたね。続く時代を担った西尾さんも、誰もが全国制覇を目指し、昼休みまでランニングしていました」という。この厳しい努力が彼らの実力をさらに押し上げる。全日本大学対抗テニス王座決定戦において強豪・慶応大学との接戦を制し、念願の全国王座を手に入れた。

70年代前後は団体戦で関西チャンピオンを死守しながら個人戦においても多くのインカレ優勝者を輩出した。初心者同然で入部した部員が4年次にインカレ出場を果たしたのも他校にない高いモチベーションがなした業と言えよう。そんな一人、71年卒の藤井さんは、初心者同然で半ば騙されたようなカタチで入部したが、本当に貴重な時間を過ごせた」と当時を振り返る。78年に全国制覇を逃した吉田さんは、その悔しさを胸に王座奪還を固く決意。また下級生にも強力なメンバーがそろった。シングルスで2年連続全日本学生生のタイトルをものにした中西さん

原さん自身、現代アメリカ絵画展で衝撃を受け制作意欲をかき立てられた。全関西学生美術連盟に「甲南あり」と言われたのはこの頃だ。一方で、神戸東公園園の大屋外展や、神戸国際会館でパフォーマンス(舞台芸術行為)を披露。異端ぶりも健在だった。

70年代に入ると美術部人気は高まる。部員数は50名程度に膨れ、定例活動の他に、アニメーションや演劇バンド活動にも取り組むなど、マルチな芸術家集団の様相を極める。76年卒の日浦さんは、部員18人が個々に、ヘア板2枚をキャンパスにして描いた作品、計36枚を張り合わせた合作を京都市立美術館に出品しました。美術館始まって以来の大きさと驚かれたのは忘れられないと、梓にとらわれない当時の表現意欲の高さを語る。が、その気もやがて影をひそめる。

「私たちの頃は、部員数が半減。3年次に神戸ユニバーシアードで併設された世界学生美術展に参加したが、それ以外は定例のものに止まりました」と87年卒の黒田さん。指導者不在で文化会からの降格のピンチにも陥ったという。

15年の時が流れ、現在、部長を務める伏原さんはこう語る。「今では、画廊を借りなくても甲友会館が自由に利用できるなど、発表の場が整っています。コンテ、エタグラフ、フィクを用いた精度の高い作品を手掛けるなど、趣味の域を超えてのめり込む部員が増えてきました」と再びの充実ぶりを語った。あくまで個が主体の美術部だが、彼らの言葉を聞く限り、そこにも受け継がれる精神がある。それは、美術を楽しむという心。技術や形式ではなく、そのひとつの想いに美術部の歴史が紡がれてきたのだらう。

【創部】1923年
【部員数】16人(2003年11月現在)
【主な実績】

- 1955 インカレMS優勝(松岡 功) / MD準優勝
- 1956 インカレMD優勝(松岡 功・小林 要)
- 1957 インカレMD優勝(高石 勝(守)・伊藤 明)
- 1959 インカレMD準優勝
- 1960 インカレMS準優勝
- 1961 インカレMD優勝(藤井 道雄・平野 一高) / インカレWD優勝(村上 登美子・木村 洋子)
- 1962 インカレWD優勝(村上 登美子・木村 洋子)
- 1963 全日本大学対抗テニス王座決定戦優勝(甲南5・藤井3 / インカレMS優勝(渡辺) / インカレMD優勝(渡辺) / 小林 功 / インカレWD優勝)
- 1964 インカレWD準優勝
- 1965 全日本大学対抗テニス王座決定戦準優勝
- 1966 全日本大学対抗テニス王座決定戦準優勝
- 1967 全日本大学対抗テニス王座決定戦準優勝 / インカレ室内MS優勝(辻本 康)
- 1968 インカレMS優勝(中西伊知郎) / インカレMD優勝(吉田昇生・中西伊知郎) / インカレ室内MS優勝(吉田昇生) / インカレ室内MS準優勝(中西伊知郎)
- 1978 全日本大学対抗テニス王座決定戦準優勝 / 全日本室内選手権MD準優勝 / インカレ室内MD優勝(吉田昇生 / 中西伊知郎)
- 1979 全日本大学対抗テニス王座決定戦優勝(甲南5・早稲田4) / インカレMS優勝(中西伊知郎) / インカレMD優勝(中西伊知郎) / インカレ室内MD優勝(中西伊知郎) / インカレ室内MD優勝(中西伊知郎) / 藤原 純)
- 1980 全日本大学対抗テニス王座決定戦準優勝 / インカレMS準優勝 / インカレ室内MS準優勝
- 1981 インカレ室内MS準優勝
- 1982 インカレMD準優勝
- 1984 インカレMD準優勝(前田 健志・坂元 俊)
- 1988 インカレMD準優勝
- 1994 全日本大学対抗テニス王座決定戦4位

取材に出席された方／那須一郎さん(59歳卒)、西尾忠昭さん(65歳卒)、藤井三穂さん(70年卒)、吉田昇生さん(79年卒)、中西伊知郎さん(81年卒)、坂元俊一さん(86年卒)、石原さん(88年卒)、平野雄志さん(92年卒)、国光高木さん(99年卒)、学生、池上真智さん(3)、高木隆宏さん(文)、田中幸子さん(文)



上 / フランス人ボランティアとともにクサナールの人々の検眼。
下 / クサナールのパザールにて現地の人々と交歓。

今回の訪問中、教育活動の支援では、圧倒的に不足している文房具類の無償支給と学校の教育施設充実のための視察や指導を行いました。眼鏡の普及支援は、衛生状態や電気の普及率の低さなどによって、視力の低下や眼の病気になる人の多いアフリカ諸国では非常に大切な活動の一つで、先進国で不要になった眼鏡を集め、それを調節して現地に運び、約200円で販売するという連の活動です。この眼鏡の売上金はそのままクサナールの支

援に還元されるため、サンシール市としては、サンシール市に対して、支援活動を行っています。それは医薬品の提供や医療体制の整備、井戸や飲み水・電気・電話普及の支援、学校や託児施設建設を始めとする教育活動全般に対する支援など、非常に広範囲にわたっています。今回は、その内の教育活動の支援と眼鏡の普及を支援するグループに同行しました。

手から手へ、想いも一緒に届ける 現地ボランティアに参加

セネガル(アフリカ)・クサナール市訪問

1月11日より21日まで、本校初の試みであるクサナール訪問団がサンシール市の姉妹都市委員会ボランティアの方々と共に、セネガル・クサナール市を訪問してきました。

本校でも生徒会が中心となって、この活動に数年前から協力し、不要になった文房具や眼鏡を集め、これまでもサンシール市に託してきました。しかし今回は、ただ寄付するだけでなく、実際に現地に赴き、自分の目で現状を見つめ、自分たちの活動の意味を知る必要があるという事で、長年本校の教育に携わって頂いている、サンシール市前助役で現在本校の現地理事をして頂いているダウニエ氏の協力を得て、クサナール訪問が実現しました。



クサナールの学校の子どもたち。

参加者
たので、併せてご報告いたします。

引率	高等部3年	高等部2年	高等部1年
江藤 富央 教諭	保井 巴 教頭	吉野 麻衣 藤原 萌	新井 泉 浦 かおり



私の見たセネガルをみんなに伝えたい

高等部3年 藤原 萌さん

私はセネガルに行って、たくさんのことを学びました。日本とセネガルの文化は大きく違います。私は、セネガルのことを知らない人々に、私が見聞きしたこと全てを話したいと思っています。そして将来、セネガルのために仕事がしたいです。いつの日か、また、セネガルを訪れて子どもたちの笑顔に会いたいと思います。

本当に幸せな生活って、何だろう?

高等部3年 浦 かおりさん

青い鳥、広大な景色、トレス編みの髪の毛、働く女性、授業中の子どもたちの真剣なまなざし、生き方、これら全てが素晴らしいかったです。水、畑、共同作業、これらがいかに大切かわかりました。医薬品、ワクチン、医者、ボランティアの援助、これらがまだまだ必要でした。今、私は少しだけ、クサナールの人々の暮らしがわかりかけ、そして自分たちの生活について考え始めました。そして、今回訪問した生徒たちで、「レ・セネガル」というグループを作りました。皆で必ずまたクサナールを訪問するつもりです。私たちを連れていってくださったサンシール市に、ダウニエさんに、そして全てに感謝しています。

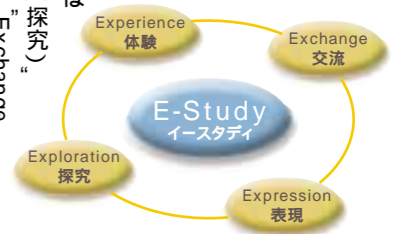


E-Study

深く追究し、広く発信するため、 ICTを使って学ぶ

甲南高校での総合学習「E-Study」。これは、生徒が自分自身のテーマを決め、それを追究するためにパソコンなどをツールとして活用し、より効率的に深く学ぶ発展的な学習です。社会の中でも、現在は、ICTを整備すること以上に、「ICTをいかに使うか」が注目されています。1975年からいち早く情報教育への取り組みをスタートさせ、発展させてきた甲南高・中では、学校教育の中でこの「ICTをいかに使うか」、そしてそこから生まれる「情報」をいかに活用するか、という本質的な課題を見つめてきました。そのため小手先の技術習得に留まるのではなく、実践的に活用して学ぶというスタイルを早くから確立しています。

この学習を進めるうえで下地となる「情報活用力」の育成は、中学校からスタート。パソコンが一人一台使える環境の中で、年ごとに段階的に力をつけていきます。そして高校2年からは「E-Study」として実践に挑戦。生徒同士でテーマ(討論)も行います。このほかに、地球温暖化や、日本人と外国人のメール概念の違いなど、広範なテーマ選択が可能。こうした主体的創造的な「E-Study」の学びにより、甲南高校の生徒はテーマの追究を通して教師との親密なつながりも生まれ、通常のスタイルの授業では身につけられない「生きる力」を育んでいくことができます。



実践を通して発展的に学ぶ!
甲南高中情報教育の流れ

中学1~3年
「情報活用」
図書・パソコンに親しみながら情報活用基礎を学び、物事を論理的に考える力を培う。

高校1年
「情報」(必修教科)
情報化社会を支える技術、それによる問題について学び、目的にあった情報を適切に活用できる力を育む。

高校2年
「E-Study」(必修科目)
「国際」「環境」のテーマの中から興味のある内容を追究。インターネットやフィールドワークなどで情報を広く集め、まとめていく。

高校3年
「E-Study」(選択科目)
「環境」「共生」「総合」がテーマ。単に成果をまとめるだけでなく、プレゼンテーション資料を作成し、自分の意見を発信していく。

甲南体験 NOW!

「E-Study」の学びでどんなことを得ましたか?

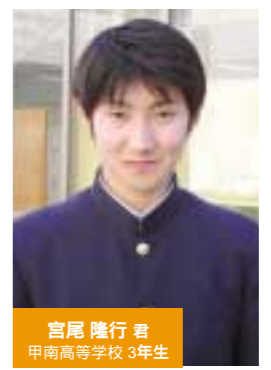
犯罪被害者をテーマに研究 法学の道に進むことに確信が持てた

僕は以前から法と社会問題の関わりに興味を持っていました。報道番組を見ても、被告にばかり焦点が当てられ、一方の被害者の苦しみは置き去りにされているような報道の多さに疑問を持っていたのです。実際に被害者が法でどのように守られているのかを解明するために「犯罪被害者」をE-Studyのテーマに設定。弁護士会の関連書籍をはじめ、被害者救済センター主催のホームページを検索したり、京都の犯罪被害者救済支援センターにも足を運びました。そうして見えてきたのが、法は被害者にとつて必ずしも有利ではないという現実。表面的には分からない、法の実像を知ることができました。そして何より、法学の道に進みたいという夢に確信が持てたことが、大きな収穫です。



辻 聖樹君
甲南高等学校 3年生

2年生のとき、六甲を舞台に「イノシシとの共生」を調べ、神戸新聞社主催のフォーラムにもパネラーとして参加させていただきました。3年ではさらに視野を広げようと思い「野生動物と人間との共生」をテーマにその実態を調査。野生動物の問題に精通する専門家の方を訪問し、直接お話を伺うこともできました。特に印象深かったのは三田市の「人と自然の博物館」で定期開催されるゼミに参加した時。農業を営む人々にとって、イノシシなどの野生動物は生活を脅かす動物でしかなく、絶滅を望む声も少なくない、という予想外の声を聞き、人と野生動物の共生の難しさを実感しました。この経験を生かし、大学進学後は人と自然環境との関わりをさまざまな角度から考えていきたいと思っています。



宮尾 隆行君
甲南高等学校 3年生

「共生」の難しさを実感 今後の学びのテーマにしていきたい

第一線で活躍する卒業生に、甲南時代の思い出や活躍の秘訣をおうかがいするこのコーナー。今回は、昨年司法試験に合格された中川さんをインタビュー。「自身の意外な経歴について、語っていただきました。」

番組づくりも、司法試験も 目標を決めたら躊躇しない

中川 みち子さん 1991年理学部卒業



PROFILE / 1991年に甲南大学理学部生物学科を卒業後、TV番組の制作会社に勤務。ニュースステーションやNHKスペシャルといった番組制作に携わる。ディレクターとして活躍するも、2001年に退社。大阪大学に社会人入学し、法学部で学ぶ。2003年、司法試験に合格。今春より司法修習生として学ぶ予定。

昨年、司法試験に合格し、この4月からは司法修習生として学ぶ予定です。司法修習生というのは、法曹のタレントとして学ぶ研修生の呼び名。実務経験のない司法試験合格者はおよそ1年半にわたって研修が義務づけられているのです。少し前、フジ系列のドラマでもスポーツが当たりましたよね。

そういえば、ドラマでは本当に個性的な修習生たちが集まってストーリーを盛り上げていましたが、実は人に言わせると、私も彼らに負けないくらい個性的なのだとか笑。というのも、ちょっと珍しい経歴を持っているんです。甲南では法学ではなく、生物学を勉強していました。卒業後は10年近くにわたってTV番組の制作会社に勤めていました。それが3年前に法曹を目指そうと思いついて大阪大学の法学部を受験。そついたら本当に受かってしまったので、そこで初めて司法試験合格を目指したという具合です。久しぶりに友だちに電話すると、第一声で必ず「いまは何やってるの?」って聞かれますね(笑)。

なぜ、私がこんなに変化に富んだ道を選んできたのかと言えば、とくに理由はないのです。強いて言えば、いつも自分の興味に対して正直でい

たかっただけ。最初の就職のときは、生物学の専門知識を生かせる方面も考えましたが、社会に広く影響を与えていくポジションに就いて働きたいと考え、TV番組の制作会社に飛び込みました。司法試験を受けようと思ったのは、番組制作に携わっていくなかで出会った弁護士の方に影響を受けたため。すでにディレクターとして制作を任される立場でしたが、目の前の人に對してもっと深く関わっていく仕事っていいなと思つたら、もう自然に動いていました。

慣れた環境を離れ、新しい現場に飛び込んでいくときにはいつも、かなり大変な思いをします。それでも躊躇したり諦めたりしない理由のひとつには、生物学科で研究に打ち込んだときの経験が大きいかも知れません。そこには自分の目指すことに真剣に取り組む人がたくさんいました。実験になったら何時間も研究室から出てこないのも当たり前。だから私も本気になれた。人ってひとつのことにこんなに打ち込めるんだなと自分自身に驚いたのを覚えています。これからは念願の弁護士に向けて力をつけていきたい。困難も多いと思いますが、頑張っていくつもりです。誰かに押しつけられた人生ではなく、全部自分で選んできた道ですから。

卒業生 TOPICS

甲南OBの著書をピックアップ!



かもめが翔んだ日
江副 浩正 著
1955年高等学校卒業
朝日新聞社 ¥1,800(税別)



アジアの処方箋
橋本 伸司 著
1979年理学部卒業
角川春樹事務所 ¥1,900(税別)

甲南フォーラム KONAN FORUM ダイジェスト

体育会祝勝会・文化会顕彰会 および父母の会課外活動表彰式

文化スポーツ、ボランティア活動などで優れた業績を挙げた学生や学内団体に贈る、学生部長特別表彰と父母の会金甲賞が、次のとおり決定しました。授賞式は2月24日、学友会館3階ハンケットルームにて行われ、小林均学生部長および黄田漢祥父母の会長から、賞状と助成金が贈られました。

- 【金甲賞】
体育会ゴルフ部
体育会ボードセーリング部
体育会アーチェリー部 岡田和典さん(3年)
体育会陸上競技部 福山西さん(経営3年)
文化会書道部 甲斐会
- 【学生部長特別表彰】
体育会ソフト部 富田智子さん(文1年)
小西絢子さん(文2年)
体育会柔道部



文化会表彰式

11月24日、第39回甲南大学学祭音楽祭終了後、一年間顕著な活動を行った文化会団体に次の各賞が贈られました。
《学長杯》文化会児童福祉研究会
《理事長杯》文化会書道部甲斐会
《父母の会会長杯》

文化会女声合唱団アモロソ
《同窓会会長杯》文化会人文地理学研究会
《学生部長杯》文化会I.S.A.
《文化賞》文化会囲碁・将棋部
文化会古美術研究会
文化会Jリーグ研究会

体育会3団体に体育賞

12月20・21日の両日、滋賀県高島郡(キノ)町の、奥琵琶湖マキノパークホテル&セミナーハウスにて第42回体育会リダーズキャンプが行われ、次の3団体に、小林均学生部長から体育賞が贈られました。
今年度の体育賞は、体育会50周年式典においても掲げられた平生精神の「徳育・体育・知育」の徳育にあたる、部活動以外のところで積極的に社会的活動などを行う」とした点に着目して選ばれました。体育会の人間である前に、「一人の人間」としての行動が評価されました。

- 体育会柔道部
本山第二中学校にて足の不自由な生徒の階段における登下校のお手伝いと挨拶運動
- 体育会少林寺拳法部
東灘消防署の出初式での住吉川における招待演武
- 体育会本部
甲南大学体育会50周年記念式典の開催

第48回 学習院戦閉会

体育会クラブによる交流戦である第48回学習院大学対甲南大学運動競技総合定期戦が終了しました。4月から11月にかけて行われ、結果は、31戦25勝5敗1分、総合得点25.5点対5.5点。で、本学が勝利しました。通算：48戦44勝2敗2分。12月13日、本体育会館において閉会式が行われ、藤澤光介体育会本部委員長(経営3年)に優勝杯が授与されました。



第134回現代講座

自治会中央委員会現代講座委員会、広報部が共催する現代講座を、1月10日、甲友会館にて、演出家・映画監督・映像作家で映画「テレビドラマCM、音楽」ビデオなど、さまざまな分野で活動されている堤幸彦氏を講師に迎え、「堤幸彦の世界」(アンチ常識論)をテーマに開催しました。

講演では、堤氏の生い立ちと考え方を中心として、「HOMELESS」,「溺れる魚」,「TRICK」,「金田一少年の事件簿」など、映画、ドラマ、アーティスト、プロモーションビデオの制作時のエピソードを交え、聴衆の質問に答えながらアーティストの人となりなどが楽しく語られました。聴衆は、後期試験の直前にもかかわらず、学生の



伴亨さんが藍綬褒章受章

11月1日、秋の叙勲・褒章が発表され、1958年経済学部卒業の伴亨さん(富士インキ工業株式会社代表取締役社長)が藍綬褒章を受章されました。伴さんは、1965年父の経営する富士インキ工業株式会社に入社、1979年代表取締役社長に就任。業界においては、1981年に印刷インキ工業会の理事に就任し、副理事長を経て、1999年から2003年までは理事長を務められ、現在も常務理事の要職にありま。このほか、印刷インキ工業連合会でも、1999年から2003年まで、副会長を務められ、現在も理事として活躍されています。このたび、中小企業振興に尽くされた功績により、経済産業省・中小企業庁からの受章となりました。



- 中川さんの甲友録
- 菅田 学さん 92年経済学部卒業
フレックス・メディカル(株) 営業部長
- 花房 あずさん (旧姓 飯塚) 91年文学部卒業
- 谷口 ミチルさん (旧姓 辻野) 91年理学部卒業

佐藤佳代子さんが
第2回センター・アリアンス
暗唱大会で優勝



文学部4年の佐藤佳代子さんは12月20日、大阪日仏センター・アリアンス・フランスーズ(大阪市北区)で行われた第2回センター・アリアンス暗唱大会で優勝しました。この暗唱大会はフランス大使館・日本フランス語教育学会が後援するもので、大阪府、兵庫県にある大学の1〜4年生またはセンター・アリアンスの生徒でフランスでの滞在期間が6ヶ月以内の人を対象としています。いくつかの課題の中から一つを選んで暗唱するスタイルで行われ、予選にエントリーした85名から33名が20日の決勝に進みました。佐藤さんは予選を第1位で通過し、決勝戦ではジェスチャーを取り入れ、フランス語を専攻とする他大学の学生をも抑えて優勝し、優待品として千ルフランス航空券(大阪・パリ往復)を手に入れました。

フランスには一度も行ったことのない佐藤さんですが、今年度、甲南大学のフランス語の中期・上級の授業を週に4コマ受講して熱心に勉強を続け、栄冠に輝きました。また、佐藤さんは、難関とされる「仏検2級」にも今年合格しました。

4月からは日東物流株式会社への就職も内定しています。

2004年度
一般入学試験(前期)志願者数
前年比10.8%減の2万67人

2004年度一般入学試験(前期)志願者総数は、2万67人で、10.8%減(2,436人)減となりました。前年度に引き続き、2年連続の減少です。文学部は堅調(3.4%増)でしたが、法学部23.0%減、経営学部20.5%減が大幅に減少しています。

志願者減少の原因として、18歳人口の減少(前年比約54,000人減)、経済不況による受験大学数の絞り込み、センター試験の平均点アップによる国立大学への強気の出願などが考えられます。

関西地区の競合大学についても、ほとんどが5〜15%程度志願者を減少させ、本学とほぼ同様の状況となっています。

一般入学試験(前期)志願者数

	2004年度	前年比
文学部	5,844	103.4%
理工学部	2,752	83.4%
経済学部	4,241	98.0%
法学部	3,157	77.0%
経営学部	4,073	79.5%
合計	20,067	89.2%

2月14日現在。
後期入試は2月16日〜27日まで出願受付。

甲南大学の
教員が執筆した
新刊
レビュー

取り調べ可視化
密室への挑戦

イギリスの取調べ録音・録画に学ぶ
渡辺 修(法学部教授)、山田直子 監修
小坂井久、秋田真志 編著
成文堂 ¥2,500(税別)

公開講座

- 「境界を越える人・物・情報」
日本・琉球・中国の民間文化交流
- 5/15 琉球・沖縄の栄光と苦渋 自立と同化の間で / 中国・琉球から華南・青洲へ 麻酔術にみる情報伝達のあいまいさ
 - 5/22 華陀(中国)から高嶺徳明(琉球)へ 麻酔術とその経緯
 - 5/29 海を渡った芸能集団〜琉球の遊行芸子(コシヤウ)
 - 6/5 近世日本における海外情報と琉球
 - 6/12 沖縄・首里と琉球の文化
 - 6/19 琉球弧にみる媽祖信仰の受容と影響
- 【時】 10時〜11時30分
【場】 200名(一般社会人)
【受講料】 3,000円(6回分)テキスト代(資料代、税込み)
【受付期間】 4月12日(月)〜4月21日(水)
往復はがき消印有効 / Web先着順
【講】 師 甲南大学文学部 高坂薫教授ほか

- 小学校5・6年生を対象
親子で楽しむ生物観察
- 5/22 本多大輔先生「海藻のふしぎ」
 - 6/5 園部治之先生「オオミジンコと遊ぼう」
 - 6/19 西方敬人先生「タケムシのふしぎ」
 - 7/3 林 慶先生「小さな化石たち」
 - 7/17 田中修先生「葉っぱの仕事」
- 【時】 10時〜12時
【場】 35組(小学校5・6年生とその保護者1名)
【受講料】 5,000円(5回分)材料費・傷害保険料(税込み)
【受付期間】 3月22日(月)〜4月2日(金)
往復はがき消印有効 / Web先着順
- 「バドミントン教室」
- 7/16・21・23・26・28・30(予定) 10時〜11時30分
- 【講】 師 甲南大学情報教育センター 楠員耕一助教授・井上明講師

- 【定】 員 高校生以上の女性で初心者、初級者50名
- 【場】 所 甲南大学講堂兼体育館
【受講料】 5,000円(6回分)テキスト代・傷害保険料(税込み)
- 【受付期間】 6月7日(月)〜6月18日(金)
往復はがき消印有効 / Web先着順
- 【講】 師 甲南大学保健体育研究室 北岡守教授・伊東浩司講師
- 「パソコン教室」
- 7/24・25 10時〜11時30分
 - 12時30分〜15時40分
- 【定】 員 30名(パソコンに慣れていてキーボード・マウス操作が難なく行える人)
- 【場】 所 5号館1階523講義室
【受講料】 5,000円(2日分)資料代(税込み)
- 【受付期間】 6月7日(月)〜6月18日(金)
往復はがき消印有効 / Web先着順
- 【講】 師 甲南大学情報教育センター 楠員耕一助教授・井上明講師

前期社会人講習会『言語講座』

【日 時】 5月1日から7月3日(予備日7月10日)までの
毎週土曜日(全10回)

【時間割】

講座名	時間	講師	備考
初級英会話	10:30~12:00	Bailey	
初級英会話		Inaba	
中級英会話	13:00~14:30	Bailey	
中級英会話		Inaba	
ドイツ語初級者	9:40~11:20 (休憩10分)	大澤・Suita	半年〜1年程度学習された方
ドイツ語既習者	10:35~12:15 (休憩10分)	大澤・Suita	1〜2年程度学習された方
フランス語会話・中級	9:30~12:00 (休憩15分)	村尾・DEZ	1〜2年学習された方
フランス語会話・上級		DEZ・村尾	3年以上学習された方
中国語入門	10:30~12:00	石井	初級
中国語コミュニケーション	10:30~12:00	吐山	
韓国語入門者	9:30~11:00	劉	会話中心
韓国語既習者	11:10~12:40	劉	会話中心

英会話クラスについては、4月24日にクラス分けのためのレベルチェックを行います。

- 【対 象】 一般社会人、高校生以上の生徒・学生
- 【定 員】 各クラス約20名まで(受講希望者が10名に満たないクラスは開講しないこともあります)
- 【場 所】 6号館マルチメディア教室
- 【受 講 料】 15000円 + テキスト代(フランス語のみ25000円 + テキスト代)(税込み)
- 【受付期間】 4月5日(月)〜4月14日(水)消印有効、往復はがき先着順

お申込みの詳細については、広報部までお問い合わせください。
TEL(078)435 2314 FAX(078)435 2546
Web http://www.konan-u.ac.jp
e-mail kouhou@adm.konan-u.ac.jp

京都甲南会主催講演会

【日時】5月15日(土)15時〜16時30分
【場所】甲南大学平生記念セミナーハウス
【講師】



堀場雅夫氏
(旧制甲南高校理科1944年卒業)
株式会社堀場製作所会長

1945年、京都大学理学部在学中に堀場無線研究所を創業。学生ベンチャーの草分けと呼ばれる。国産初のガラス式PHメーターの開発に成功し、1953年、堀場製作所を設立する。社員に博士号の取得を推奨し、自身も1961年に医学博士号を取得。「おもしろ おかし」を社是として、全社一丸となって、ベンチャービジネスのモデルともいえる企業を作りあげた。以後、同社は分析機器のトップメーカーとして、つねに技術開発で業界をリードしている。1978年に会長就任。現在、日本新事業支援機関協議会代表幹事、創業・ベンチャー・国民フォーラム幹事、京都商工会議所副会長、京都市ベンチャー企業目利き委員会委員長などを務め、起業家の育成にも力を注いでいる。著書に『イヤならやめろ!』(日本経済新聞社)『出る杭になれ!』(祥伝社)『堀場雅夫の経営心得帖』(東洋経済新報社)『仕事ができる人 できない人』(三笠書房)『問題は経営者だ!』(日経BP社)『好き』にまかせろ!』(PHP研究所)など多数がある。

【テーマ】未定
【入場料金】無料(どなたでも自由にご参加ください)

甲南高等学校・同窓会総会のご案内

~もう一度振り返ろう 高校時代~

【日時】5月29日(土)13時〜17時
【場所】甲南高等学校
【会費】2000円
【内容】



武田 國男氏

恩師による模擬授業(13時)
現役プラスアンサンブル部員による演奏会
総会(14時)
講演 / 武田國男氏(高校1958年卒業、経済学部1962年卒業)
武田薬品工業株式会社社長
甲南幼稚園・小学校・中学・高等学校を経て甲南大学経済学部卒業後、武田薬品工業株式会社に入社。1983年から3年間、アメリカのグループ会社の副社長、1993年に武田薬品工業株式会社の社長に就任。2003年5月に日本経団連副会長、同6月には、武田薬品工業株式会社社長兼最高経営責任者(CEO)に就任。2002年には日本の製薬会社で初めて、連結売上高1兆円を達成、業界トップを不動にした。2003年3月期連結決算では12年連続の増収と9年連続で最高益を更新。年齢給や扶養手当などを全廃、成果主義を実施。
懇親ビールパーティ(16時〜17時)
ご来場時のご注意 / 駐車場はございません。電車・バスをご利用ください。ご出席のお返事は次号の折り込みはがきか、甲南高等学校ホームページから(4月より)受付させていただきます。

甲南高等学校ホームページ
http://www.konan.ed.jp

EVENT SCHEDULE

- 4月
- 2004年度入学宣言書式、父母の会新入会員歓迎会(1日)
 - 新歓祭(1日〜3日)
 - 自治会オリエンテーション(5日)
 - 2004年度講義開始(5日)
 - 受講届受付(12日)
 - 甲南学園創立記念日(21日)
 - 第49回甲南大学対学習院大学運動競技総合定期戦開会式(24日)
 - 前期社会人講習会・言語講座(1日〜7月3日)
 - 第31回甲南キャン(3〜6日)
 - 第35回学館祭(10〜14日)
 - 春期公開講座(15日)・6月19日(親子で楽しむ生物観察 22日)・7月5日(第135回現代講座)
 - 自治会中央委員会選挙(予定)
- 5月
- 西井義晃さん1961年卒が描く、甲南学園のキャンパス風景のラガールカードが発売されることになりました。ラガールカードとは、阪急電鉄が販売しているフリーペーパー。京阪神の私鉄で共通して利用することが出来ます。広報部ではこれを記念し、抽選で5名の方に、1000円分のカードをプレゼントいたします。アンケートカギにてお申込みください。

プレゼント

ラガールカードに甲南学園が登場



1000円分のラガールカードを5名様に!

次号予告(2004年5月発行予定)

Network Konan
つながる!甲南ネットワーク
来る訴訟社会、
大学はどう変わる?

甲南Today No.17

発行日 / 2004年3月5日
発行 / 甲南学園広報部
〒658 8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
TEL(078)431 4341(代)
印刷 / 大日本印刷株式会社